

市制70周年記念誌の発刊に際して

茂原市は本年、市制施行70周年という記念すべき節目の年を迎えました。

本市は昭和27年4月に県内10番目の市として市制の産声をあげ、昭和47年の本納町との合併を経て、現在では、人口8万7千人余、面積99.92平方キロメートルを有する、「長生・山武・夷隅地域の中核的な都市」として発展を続けてまいりました。これもひとえに、郷土の発展に多大なるご尽力をいただきました。先人の方々をはじめ、市民の皆さま方、市議会の皆さま方、そして歴代市長の並々ならぬご努力のたまものと、心より感謝と敬意を表する次第でございます。



茂原市長 田中豊彦

さて、わが国の経済情勢は、エネルギー資源をはじめ、原材料費の高騰などにより物価高の状態が続いております。今後もしばらくは厳しい状況が継続してしまうことが予想され、先行きの不透明感が強くなっております。本市におきましても、新型コロナウイルス感染症への対応や、近年頻発している大規模災害への備えに加え、扶助費の増加や老朽化が進むインフラ施設の更新など、それぞれが直面する課題に、迅速かつ確かな対応が求められております。

このような中、令和3年3月に策定しました新しい総合計画では「誰もが安全安心に暮らせるまちづくり」、「明日を担う人を育む未来に向けたまちづくり」、「一人ひとりの地域参加で拓く協働のまちづくり」、「地域資源を活かしたにぎわいあるまちづくり」という四つの基本方向を示し、各種事業の展開を図っているところであります。

今後も、本市が目指すべき将来都市像、『未来へつながる「交流拠点都市」もばら』の実現に向け、さまざまな施策を推進してまいります。

そして、未来を担う子どもたちに、明るく豊かな茂原市を引き継いでいくため、市民の皆さまをはじめとして、本市に関わりのある企業や団体などと力を合わせ、持続可能なまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。さらに、市民の皆さまが夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる、新たな茂原市の歴史を築いてまいりたいと考えておりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この記念誌は「郷土茂原」の誕生から現在までの70年間の歩みを紹介するものであり、多くの市民の方々に本市の輝かしい歴史に触れていただければ幸いに存じます。

茂原市プロフィール

本市は千葉県のほぼ中央、都心から約60km圏内に位置し、人口は約8万7千人。温暖で四季折々の自然と天然資源に恵まれ暮らしやすく、農業・商業・工業のバランスがとれたまちです。

市章



茂原市の頭文字「も」を図案化したもの。力強い円の交錯は、人の和、産業の和、自然の和を意味し、茂原市の力強い円満な姿を表現しています。

人口と世帯数

(令和4年11月1日現在)

総人口 87,413人
男性 43,240人
女性 44,173人
世帯数 41,581世帯

位置・面積

東経 140度15分～140度23分
北緯 35度22分～35度30分
東西 11.7km
南北 13.1km
面積 99.92km²